

2024年(令和6年)11月15日(金曜日)

AI革新

台湾の今

~ TAITRONICS & AIoT展2024 ~

<5>

ケル台湾

高周波対応製品を訴求

に対応するコネクタの開発を強化している。会場では、高速伝送対応のフロッピーングコネクタや極細同軸ケーブル用コネクタを中心に展示した。

今年で設立20周年を迎えるコネクタメーカーのケル台湾は、次世代の高速伝送の要求

として伝送できる最大32Gbpsの高速差動伝

送対応のO.55ミリの高性能同軸ハーネス「TSLシリーズ」を訴求した。TSLシリーズは、ケーブル結線用途に合わせて選べるよう複数製品を展開している。

開発中の最新の高速通信規格PCIe5.0に対応した基板対基板コネクタ「JBシリーズ」も展示した。

紹介した。

ブースには多くの来場者が訪れ、洪氏は「潜在的な顧客と直接商談することで、製品機能の特徴を紹介できた。来年も出展したい」と、台湾市場での新規顧客開拓に弾みを付けていた。

ブランド周知

今回のTAITRONICSはコロナ禍後、同社が初めて参加



ケル台湾のブース